



Software Technology

# IPA/SEC C コーディング作法ガイド チェックサポート TBvision®

## IPA/SEC について

IPA/SEC C コーディング作法ガイドは、情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター (Software Engineering Centre of the Japanese Information-Technology Promotion Agency) により策定されました。コーディング作法は、高品質なソースコードの開発を支援するためのものです。このガイドは、適正なコーディングの作法を実施するための品質規範となる品質特性を焦点にしています。そして広範に渡る日本国内の組込みシステムソフトウェア開発の経験を参考にし、また “MISRA-C”, “Indian Hill C Style and Coding Standards”, “GNU coding standards” など既存のベストプラクティスなるたコーディング規約も参照としています。

## IPA/SEC C の特徴・利点

このガイドラインは、信頼性 (Reliability)、保守性 (Maintainability)、移植性 (Portability)、効率性 (Efficiency) からなる品質特性を特徴としています。それゆえ主に信頼性をターゲットにする MISRA-C:2004 と比較すると、より広い範囲のCプログラミングの課題をカバーしています。そして CERT C セキュアコーディングスタンダードによりカバーされる安全性の課題についても補完しています。他にも命名規則、スタイルなど MISRA-C:2004 や CERT C セキュアコーディングスタンダードでは直接対処されていないものにも対応しています。

## IPA/SEC C をサポート TBvision

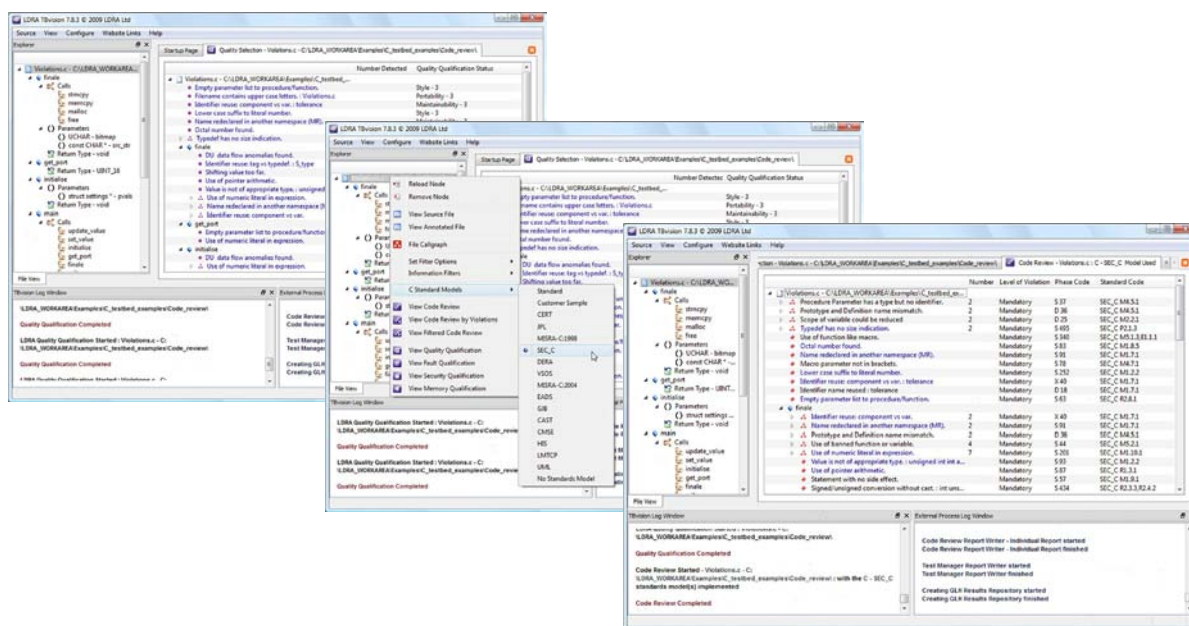
LDRA 社は、IPA/SEC C ガイドラインをサポートするために、LDRA ツールスイートを拡張しました。これにより TBvision を用いて、コードがこれらガイドラインに準拠していること、さらには MISRA-C:2004 や CERT C セキュアコーディングスタンダードへの準拠を査定することができます。これら全てのルールセットを満たすソフトウェアは、信頼性、安全性、保守性が極めて高くなると言えるでしょう。

また、IPA/SEC C ガイドラインではコーディング作法に加えて、代表的なプログラミングエラー例×20種をハイライトしています。これら全てのプログラミングエラーは、TBvision で検出可能です。

# IPA/SEC C コーディング作法ガイド TBvision® による準拠の自動チェック

## LDRA 社 プログラミングスタンダードに対する実績

先進のコード解析能力により、TBvision は MISRA-C:1998, MISRA-C:2004, MISRA-C++:2008, CERT C セキュアコーディングスタンダード に対する準拠のチェックをサポートしています。また LDRA社は、ロッキード・マーチン社と協力して JSF++ AV スタンダードを開発し、これに加えて、Meyers Effective C++ や Effective STL coding guidelines など多くのガイドラインをサポートしています。



TBvision は、ホスト/ターゲットなど、あらゆるテスト環境に合わせて設定を行うことができます。LDRA 社の製品とそのサービスは、高信頼性、安全性を代表する多くの世界的企業に採用されています：DENSO Corporation, IHI Corporation, Lockheed Martin, Honeywell, Raytheon, Elbit Systems, Rockwell Collins, eSysTech, Presagis and NASA.

For more information or a demonstration contact LDRA:

[www.ldra.com](http://www.ldra.com)  
[info@ldra.com](mailto:info@ldra.com)